

令和3事業年度

決算報告書

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

公立大学法人 九州歯科大学

令和3年度 決算報告書

1 収支計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
費用の部	3,645	3,489	▲ 155	
経常費用	3,645	3,481	▲ 164	
業務費	3,231	3,104	▲ 126	
教育研究経費	327	313	▲ 14	
診療経費	698	737	39	
受託研究費等	13	17	4	(注1)
人件費	2,193	2,036	▲ 156	
一般管理費	407	368	▲ 38	
(減価償却費 再掲)	(198)	(206)	(8)	
財務費用	6	6	0	
雑損	-	0	0	
臨時損失	-	8	8	(注2)
収益の部	3,468	3,432	▲ 35	
経常収益	3,468	3,426	▲ 41	
運営費交付金収益	1,723	1,644	▲ 78	
授業料収益	408	394	▲ 13	
入学金収益	62	64	2	
検定料収益	8	7	▲0	(注3)
附属病院収益	1,050	1,122	72	
受託研究等収益	13	18	5	(注4)
補助金等収益	65	35	▲ 30	(注5)
寄附金収益	29	29	▲0	
資産見返運営費交付金等戻入	12	15	3	(注6)
資産見返補助金等戻入	27	23	▲ 3	(注7)
資産見返寄附金戻入	6	9	2	(注8)
資産見返物品受贈額戻入	11	11	0	
財務収益	0	0	0	
雑益	48	48	0	
臨時利益	-	6	6	(注9)
当期純損失	177	56	▲ 120	
当期総損失	177	56	▲ 120	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注1) 受託研究費等については、主として受託研究等収益が5百万円増加したことに伴い受託研究費等が同額執行されたため、予算金額に比して4百万円増加しました。
- (注2) 臨時損失については、主として当初予定のなかった教職員住宅解体工事の事前調査を行ったことにより、予算金額に比して8百万円増加しました。
- (注3) 検定料収益については、入学志願者が当初見込みを下回ったことにより、予算金額に比して0百万円減少しました。
- (注4) 受託研究等収益については、受託研究等の件数が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して5百万円増加しました。
- (注5) 補助金等収益については、主として臨床研修医補助金が当初見込みより21百万円減少したことにより、予算金額に比して30百万円減少しました。
- (注6) 資産見返運営費交付金等戻入については、特別交付金で更新された麻酔管理システムが資産計上されたことなどから、予算金額に比して3百万円増加しました。
- (注7) 資産見返補助金等戻入については、施設整備補助金で実施した電話交換機更新工事の完了が年度末になったことなどから、予算金額に比して3百万円減少しました。
- (注8) 資産見返寄附金戻入については、寄附金により取得した固定資産の減価償却費が増加したことに伴い、資産見返戻入も予算金額に比して2百万円増加しました。
- (注9) 臨時利益については、主として対人賠償保険金として3百万円計上されたことにより、予算金額に比して6百万円増加しました。

令和3年度 決算報告書

2 資金計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
資金支出	3,774	3,910	136	
業務活動による支出	3,434	3,243	▲ 190	(注1)
投資活動による支出	61	68	7	(注2)
財務活動による支出	108	117	9	
翌年度への繰越金	170	480	309	
資金収入	3,774	3,910	136	
業務活動による収入	3,343	3,393	50	
運営費交付金収入	1,672	1,659	▲ 12	
授業料収入	388	383	▲ 5	
入学金収入	62	64	2	
検定料収入	8	7	▲0	(注3)
附属病院収入	1,050	1,123	73	
受託研究等収入	13	15	2	(注4)
補助金等収入	69	58	▲ 11	(注5)
寄附金収入	29	26	▲ 3	(注6)
その他の収入	48	53	5	(注7)
投資活動による収入	0	0	0	
財務活動による収入	-	-	-	
前年度からの繰越金	431	517	86	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注2) 投資活動による支出については、主として工具器具備品の取得による支出が当初予算見込みを上回ったことにより、予算金額に比して7百万円増加しました。
- (注3) 検定料収入については、入学志願者が当初見込みを下回ったことにより、予算金額に比して0百万円減少しました。
- (注4) 受託研究等収入については、受託研究等の件数が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して2百万円増加しました。
- (注5) 補助金等収入については、主として臨床研修医補助金が21百万円減少したことにより、予算金額に比して11百万円減少しました。
- (注6) 寄附金収入については、研究助成金の件数が当初見込みを下回ったことにより、予算金額に比して3百万円減少しました。
- (注7) その他の収入については、主として対人賠償保険金として3百万円計上されたことにより、予算金額に比して5百万円増加しました。

○キャッシュ・フロー計算書の額と決算額の主な差異について

- (注1) 業務活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額3,200百万円に、当期末未払金271百万円を加算し、前期末未払金228百万円を減算して算出しています。
- (注2) 投資活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額41百万円に、当期末未払金60百万円を加算し、前期末未払金32百万円を減算して算出しています。
- (注5) 補助金等収入の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額27百万円に、当期末未収金31百万円を加算して算出しています。